

番号	本日の感想をご記入ください。
1	私は他市で教員をしており、芦屋市民でもあり、2人の小学生の保護者でもあります。 高島市長には毎日大変ご尽力頂き、芦屋市が日々変わっていていることを実感しております。 興味深いお話ばかりで時間があっという間に過ぎてしまいました。 教員の立場から言いますと、教員は毎日日々こなさなければいけないことばかりで正直疲弊しています。 子どもが好きで教えることをしたくて教員になったはずですが、上手く授業ができずにもどかしい日々でもあります。 現場を変えたいけれど、家庭もあり時間も限られており変えられない実情もあります。 学校外から変えられるシステムを変えて頂いたり、私達も現場は子どもを中心とした学びに変える努力をしていきたいと思ひます。本日は素晴らしい教育を考える時間を作って頂き有難うございました。
2	普段聞くことのない、教育の話聞くことができてとても勉強になりました。 特に、幼少期からの非認知能力を高めることが将来に影響してくるということが面白いと思ひました。 また、幼児教育無償化により子どもの生活満足度の低下や犯罪率が上がった研究は衝撃的でした。 子どもや自分の周りの人との対話を大切にしたいと思ひました。
3	今日はいろいろな教育観のお話が聞けて、とても良かったです。自分の学校、研究にどのように今日のお話が生かせるか考え、職員室や部会でも対話を積み重ねていきたいと思ひます。
4	本校でもどのように学校を教育を変えていくのか、模索しているところです。考えている方向性が同じで、勇気をもらいました。これからも対話を通して学校改革に取り組んでいこうと思ひます。
5	それぞれのお立場から、子どもの教育に関する意見を聞くことができ、いい時間になった。ありがとうございました。
6	教育の根本的な目的や、認知能力・非認知能力、幼児教育の重要性等々…大変興味深い内容でした。市外にも広く参加を呼び掛けていただきましてありがとうございました。
7	とても有意義な時間を過ごすことができました。日頃から自分が意識して取り組んでいることに自信を持つとともに、1人で頑張るのではなく、学校の仲間や保護者とともに対話を通して考えて行くことの大切さを再認識いたしました。また、来週からの教育活動に生かして行きたいと思ひます。ありがとうございました。
8	専門家の皆様の話を聞けて明日からの教育に活かせると感じたとともに、対話の重要性を痛感しました。本日は本当にありがとうございました。
9	オンラインでも意見を出して参加できるようにしてほしいです。 音などは非常に聞き取りやすく、素晴らしいかったです。
10	素敵な学びの機会になりました。ありがとうございます。
11	私は学校関係で、仕事をしています。 市長自ら 教育について 地域住民、市街の方と話し合いをしたり、芦屋の取り組みを紹介したりなど興味深い時間を過ごすことができました。 これこそが地方自治のあり方で、首長として期待したことだと考察します。 どうしても国政の規模ではこままでできないというか、それぞれの利益や忖度が出てしまいますが、地方公共団体の規模ではこのような催しはとても意味のあるものだと思います。 自分の住んでいる市や勤務する学校でもこのような議論が日々教職員や、生徒、保護者の間で積極的に建設的に議論ができたならとも考えました。有意義な時間をありがとうございました！
12	教育分野に興味がある市外の大学生です。今日学んだことを今後どんな立場からどのように生かしていこうか、悩むことは多いですが見つけたいと思ひます。とても身になるお話をありがとうございました。
13	すばらしいセット販売をありがとうございました。苫野先生が、いつも拝読させていただいている本から飛び出たような、ワクワクする熱い語りをお聞き出来て良かったです。また、中室先生も、新たな研究の事例をお示しいただきながら、いつものエビデンスベースドのご意見から学ぶことができました。特に、ちょうどの学びというところで、幼保、小、中の連続性、連携というところをどう考えているのか？についてお聞き出来て良かったです。私も大学生ながら、自分自身の研究に活かし、「よい」教育に貢献したいと思ひます。改めて、本日はすばらしく、美しい2時間をありがとうございました。
14	有識者の人選がよかった。無駄がなく密度の濃い有益な議論を聴くことができた。
15	お疲れさまでした。 今回は対話をするのが出来ませんでした。 今後は、参加者の声を必ず聴くようにしてください 今後も、対話集会を続けてください。 テーマを細分化していただくと興味の度合いに応じて参加者も限られるので参加者の意見を多く聴くことが出来るかと思ひます。 テーマ 例えば 幼少中一貫教育 個別最適化教育 国際バカロレア 早期英語教育 イメージ教育 探求 とか テーマが絞られる方がより充実した対話が出来ると思ひます。
16	予定が合わず、すべてのパネルディスカッションを聞くことができなかったのですが、非常に充実した対話を聞かせていただきました。 芦屋市の取組が全国に伝播していき、日本の子供たちの学びがさらに充実していくといいなあと思ひます。 私自身、教育現場におりますので、自分の学校の子供たちの学びについて、同僚だけでなく、保護者や地域の方々、子供たちと対話をしたくなりました。 本日はありがとうございました。 可能ならば、アーカイブ動画の配信をしていただけると有難いです。
17	子供を見ながらの参加だったため一部の視聴となりましたが、貴重なお話を伺え、大変ありがたかったです。 今回の様に、土日祝にオンライン参加できる保護者向けの学びの場がもっとあるとすごく嬉しいなと感じました。 ありがとうございました。
18	話を聞きたかった方の話を聞くことができて光栄に思うと同時に、たくさんの人にも聞かせたいと思った。来週の授業参観がとても楽しみになり、ぜひ自分の目で見て感じることを大切にしたい。運営の皆様も大変なご苦労があったと思うが、盛大な会で報われたように思う、ありがとうございました。
19	改めて、「教育」を「共育」に変えたいと思ひました。 芦屋市のプロジェクトから学べる事が多くあり、 全国で切磋琢磨出来る機会があると良いと思ひました。 本日はありがとうございました。
20	教育長、苫野先生、中室先生のお話に深く共感するとともに、これからの子どもたちの学びについていろいろと考えることが多くありました。市長のファシリテーションによる引き出しも大変良かったです。自分自身現状とのジレンマもありますが、心理的な安全な場づくり、対話の文化をどう作るか、非認知能力の育成など心に刺さったものをこれからも大切に忘れずに、教職の場で仲間や生徒たち保護者の方々地域の方々と共にできたらと思ひました。ありがとうございました。
21	今日のお話は大変参考になることばかりで、参加して本当によかったと感じております。特に、非認知能力について中室先生から数々のエビデンスをお示しいただいたことが大変勉強になりました。また、苫野先生が対話を通じて学校の根っこの部分を作っていくというようなお話をされましたが、私も今の学校に欠けているものは教員同士の対話だと感じています。苫野先生の御著書を読み、勉強したいと思ひました。ありがとうございました。
22	教育の本質を見つめ直すきっかけとなりました。大変豪華なフォーラムだと思ひました。様々な手段や手法に注目が集まりがちで、結果や説明責任が求められ過ぎているのが、学校、教育を取り巻く現状です。また、働き方改革の流れの中で、教師たちも自校の中で対話する時間、機会が減っていると思ひます。子どもたちの成長のための伴走者として、教師自身が専門性を磨き、しなやかさと自由を持ち合わせるべきだと感じます。 私自身も、日々の業務において、時間がかかっても、対話を諦めず、教育を哲学し続けたいです。
23	パネルディスカッション、興味深く拝見いたしました。幼児教育では、遊びを通して学んでいく中で、非認知能力も育まれているということを改めて実感しました。幼児教育を小学校へとつないでいく（接続）も、実践をしているところですが、本日学んだことを意識して取り組んでいきたいと思ひました。 ありがとうございました。
24	興味深く拝聴いたしました。 大変素晴らしい企画をありがとうございました！
25	教育のいろいろな課題、今後の取り組みについて考えることができました。芦屋市の取り組みであるPEACE プロジェクトを知り、対話によりどんな学校にしていくべきかさまざまな観点から全職員で考えていくことの大切さを実感しました。そもそも学校は何のためかというお話は大変心に残り、今自分の学校で取り組んでいるすべてのことは何のためなのかを教員は考えて実行していきたいです。また、個別最適化を取り入れ、子どもたちで動かす学校づくりは必要であり、今後先生だけでなく保護者、地域の方と対話しながら考えていきたいと思ひます。芦屋市の実践を深く学ぶことができ勉強になりました。ありがとうございました。
26	学校とは何か？今まで考えたことがなかったのですが、対話を学び、お互いを尊重しながら自由を得ていく方法を考える場であるというお話に、そういう場所であったのかと気付かされました。小学生、中学生の娘たちがおりますが、部活や委員会等の経験を通して、色々な学びをしているんだと学校にも感謝しています。哲学、経済、教育機関様々な立場からの話を伺い、有意義な時間でした。どうもありがとうございました。
27	「教育データ活用を考える」のずっと基の部分にある内容だったと感じました。 「子どもにゆだねる」学びが展開されるためには保護者や地域の理解が不可欠で、そのための対話、最後に中室先生がおっしゃった情報公開が実際に大切だと感じました。非認知能力は聞きなれず、自分は人間性と変換して聞いていたが、人間性のある子どもたちが活躍できる社会になれば、必然的に教育も変わっていくはずですが、社会よりも先に教育を変えようとしている芦屋市に強く刺激をいただきました。有意義な時間をいただき、ありがとうございました。
28	本日はありがとうございました。校務の関係で、オンラインでの参加となりましたが、登壇された先生方の”熱”が、画面越しに伝わってきました。三名の先生、それぞれに立場の違いはあれども、それぞれのお立場からの発信内容が、上手く絡み合っていたように思ひます。お話を伺いながら、学校としてできることは何なのか？を考えていました。私自身、管理職という立場ですので、管理職の権限でも、けっこうな取り組みができるのではないかと。以前、幼稚園の運動会を見る機会がありました。その時の園児は、けっこうなレベルの取り組みをしていました。（特に英才教育というわけではなく、自分たちで道具の出し入れをやったり、アナウンスをやったりしていたのです。もちろん、それまでの練習もあるでしょうが）それが、小学校に入学と同時に、お客さん扱い。（1年生＝何も知らない・何もできない）のではないのです。ゼロからのスタートにすべきではないのに、ゼロからやっています。「もっともっと、子どもに委ねていってもいいのに」と思っています。来週は、岩園小学校での授業研究会に申し込んでおります。芦屋の教育の、生の姿を拝見できること、今から楽しみです。本日は、本当にありがとうございました。
29	教育経済学の中室さんの視点が斬新で、新たな気づきに繋がりました。 苫野一徳さんは、子を持つ保護者としてよく知っていましたし、参加のきっかけとなりました。 今回の場のように、小学校体育館が会場で、市長、教育長、ゲスト2名というパネルディスカッションによって織りなされる対話と、未来への懸け橋は素晴らしい場だと思います。 ありがとうございました！日本の教育が変わりますように。
30	2時間半では思えないぐらい、非常に濃く学びの多い時間でした。苫野先生とは普段オンラインゼミで一緒にいますが、全く話し足りない顔をしてたと思ひます笑 次回はあのお三方セットで一日コースを希望します！ 以下要望です。 現地にいましたが、できればパネラーから資料公開の許可をいただけるのでしたら、スクリーンの写真撮影を許可していただきたいです。書き取るのに必死になって話を聞き漏らすこともありました。 また、これもできたら期間限定でいいのでアーカイブ配信をしていただきたいです！ 本日はありがとうございました。

31	<p>福岡県から参加させていただきました。高島市長、パネリストのお三方、そして芦屋市教育委員会のみなさま本日は本当にありがとうございました。私自身、小学校教諭として勤務する中で、苦難の毎日を過ごしています。学習準備に、保護者対応、雑務など、楽しいこともあります、忙し心にゆとりを持っていないのが現実です。しかし、今回のシンポジウムを通して教育の目的を再確認し子どもたちのどんな力を伸ばしていけるのかを考えるなかで、教員としての自分自身の役割を再認識することができました。小学校は小学校の先生を育てるためにあるものではない。子ども自身の可能性を見つけ、伸ばし、ほめて、育てるのが小学校の役割だと思います。そこに教師は、子どもたちの伴走支援者としての役割を全うするというマインドが何よりも大切であると考えます。</p> <p>「子どもに委ねる学び」というと、聞こえは良いですがはき違えてしまうと子どもたちを「放置」することにもなりかねないとも思います。しかし、そうではなく子どもたちと教師の間で十分な合意形成が得られ、自身の責任を自覚した中での自由な学びを提供することが「子どもに委ねる学び」なのかなと思っています。これが正しいといった一意性のないものだからこそ、私たち教師は常に子どもたちを見つめ、学び続けたいといけなものであると考えることができました。本当に勉強になりました。ありがとうございました。次回のシンポジウムもすずけに楽しみにしています。</p>
32	<p>行政として教育の理念や公正さを大切にし、丁寧に分析したり・現場に配慮して変革しようとする芦屋の姿は、素晴らしいと思います。</p> <p>ゲスト両先生のお話・研究成果も有難く伺いました。</p> <p>個人的に、教員（都公立小で働いてました）として一番悩ましいのは管理職のマインドセットが、変容や多様性に閉ざしていることでした。摩擦がハラスメント様態となり教員の病休につながることも多数あります。対話で発散した後、実際には運営のためにどれかの意見を選択して決めなければならないことと納得感つくりの両立はどのようにして可能か。そういったマネジメント経験が我が国の職員室・教育行政に不足していることが大きな問題だと思います。芦屋ではどうしているのか、どうしていくのか、期待して注目させていただきます。</p> <p>市民一人一人が教育環境をつくるということは、諦めず思考・行動することと他責にならないことだと改めて確認し、励まして頂いたような会でした。ありがとうございました。</p>
33	<p>様々な学びがありました。</p> <p>「非認知能力は認知能力を上げるが、逆はなさそうだ」ということは肝に銘じておきたいと思っています。</p> <p>合意形成を装った、（実は答えを用意している誘導的な）発問にも気を付けます。</p> <p>学校の教育についての話がなかったので、家庭での子どもの過ごし方に視点を置いた様々な意見交換会があれば面白いかもしれないと思いました。</p> <p>家庭と学校が共に子どもを育てるのであれば、子どもの家庭での過ごし方を知る機会があってもいいのではないのでしょうか。共働き、片親や、様々な家庭の考え方をすることは、市民が視野を広く持ち、子育て家庭を見守ることにつながるのではないかと思います。学校と家で「子どもの姿」が異なることが多いです。先生方が知ることのない子どもの姿、保護者にとっても他家庭を知る機会も少ないですので、企画していただくと嬉しいです。</p> <p>本日はありがとうございました。</p>
34	<p>哲学と経済学の二極化の視点で教育を見ることで違いや共通点が考えながら多様な角度で教育について考えることができませんでした。対話が生まれやすくなる方法には二極化をすることが活性化すると感じ、現場での研修等で活かしていきたいです。また、哲学的、抽象的な問いを自分自身に問い続けたいと思います。</p>
35	<p>芦屋の中学に通う子供がいます。</p> <p>今日はとても有意義なお話を聞くことができました。</p> <p>ありがとうございました。</p> <p>保育所、小学校とお世話になり、自分の幼少時に比べて随分と生徒主体の授業が行われていてとても素晴らしいと感じています。</p> <p>好奇心旺盛で色んなことにチャレンジする子どもに育ちまして、今までお世話になりました先生方にはとても感謝しています。</p> <p>ですが、受験に目を向けるとそうも言っていられず、特に中学生になってからはテストの成績が気になってしまいます。</p> <p>まだまだ現実進学も就職も学力が大きく影響していると思います。</p> <p>そうすると探究活動、部活や委員会活動などに積極的に参加することで時間を取られてしまうため、成績にはプラスになるどころかマイナスになることもあり、どうしようかと考えてしまうようです。</p> <p>やはり勉強を優先するしかないのか…悩ましいところです。</p> <p>また、今の子どもたちはとても忙しいと思います。中学受験をする子どもが多いこともあると思いますが、早くから塾に通う子も多いです。</p> <p>塾に行くこと行かない子の差や今の子どもたちはのびのびと育つことが出来ているのか、その辺りが気になっています。</p> <p>これからの芦屋の教育、福祉に大変期待しています。どうぞよろしくお願い致します。</p>
36	<p>幼児教育が最も重要で、幼児教育の視点を学校に取り入れていく方向へ、とお話しありましたが、そうなることを切に願います。保育園でのびのび育った子が、小学1年生で学校がいやになってしまったのも、1年生としてあるべき姿が基準とされ常に評価される環境だったからなのかもしれません。親や教師など大人が、こども一人一人の興味、学び方、得意不得意などに注目して成長を見守っていくことを重視して、育ちの環境を作れるようになっていって欲しいし、その方向で自分も動いていきたいと思っています。また、義務教育において評価は不要で、評価はフィードバックのためにあるべき、とは心に留めておきたい言葉でした。たくさん大切なことを学べました。どうもありがとうございました。</p>
37	<p>大変わかりやすく、興味深く、2時間半があったという間でした。非認知能力を大切に育てている公立の幼稚園教育を、今後も芦屋市の教育の中で生かす方法はないのかと強く思いました。</p> <p>もっと地域や他の学校園と繋がり、教育を発信していきたいと思っています。またこれからも、職員とも保護者とも対話を大切にしていきたいと思いました。ありがとうございました。</p>
38	<p>まさに今、教育に求られている課題について、お二人の学者のお立場と教育行政のお立場で、貴重なお話しをお聞きできた事で、多くを学ぶ機会となりました。ありがとうございました。</p>
39	<p>本日は参加させていただき、ありがとうございました。</p> <p>非認知能力と認知能力の話、とても勉強になりました。</p> <p>貴重なお時間をありがとうございました。</p>
40	<p>市長、教育長、教育経済学、教育哲学と多様な視点でこれからの教育が語られ、様々な立場の方が集まって話を聞ける場が良かったです。</p> <p>幼児教育について個人で考えていたことの確認と、新たな視点が持てたことが特に印象に残った学びでした。</p> <p>学校は多様な他者との対話であるべき場所ですが、違いが認められず相互批判の場になってしまっていないかまた考えていきたいです。</p>
41	<p>教育哲学、教育経済学、教育行政の3つの立場からの議論は、興味深く、沢山の刺激を受けました。特に、後半の幼児教育、義務教育の学びについては、一番聞きたかった所であり、かなり整理できました。前を走っている市町も少し焦りも感じていましたが、教育長さんが言ったとおり、着実に立つ立ち止まることなくやっていくことが肝要だと改めて感じました。貴重な機会を与えていただき、本当にありがとうございました。</p>
42	<p>本日はありがとうございました。その分野の専門の先生方が芦屋に来て話をしてくださる機会を作ってください、本当にありがとうございます。このような取り組みが、何よりも市に新しい風を吹き込んでくださっていると思います。今回のお話を聞き、教育における自由とは何か？そこで学んだ自由を社会でどう活かしていくのか？混沌とした世界だからこそ、真剣に考えていくべきだと感じました。世界から見ると芦屋は小さな街のひとつにすぎず、小さな熱意かもしれないですが、この街から広がるかもしれないと心踊るワクワクした時間となりました。</p> <p>教えて頂いたこと、芦屋市の取り組みなど周りの保護者の皆さんにも共有していきたいと思っています。</p> <p>（こんなに貴重な先生方の講演が無料だなんて！本当にありがとうございました）</p>
43	<p>苦野先生のそもそも、というところの深い哲学のお話と、データでしっかり結果が出ている中室先生の明快なお話、教育長の具体的な身近な現時点の芦屋のお話がとてもバランスよく、非常に納得感のある内容でした。</p> <p>就学前教育に関しては、芦屋市の保育所の質の高さをもっと全国に知ってほしいとずっと思っていて、この環境であればすべての子どもは健全に育つと思っています。我が子が芦屋市の保育所で育ったのは20年ほど前のことなので、もし様変わりしていたらとても残念ですが。</p> <p>ここの保育所で育ったから我が子は大丈夫、という安心感が自分にはあり、その安心の気持ちが親子双方にいい影響を与えていると思います。</p> <p>何が良かったか。</p> <p>先生の熱量、子どもの成長を我が子のように喜んでくれて、行事のときには保護者よりも感動で泣いていた</p> <p>本気で叱ってくれた</p> <p>「おこがましいけど保育所では自分はお母さんだと思って接している」とはっきり先生がおっしゃった</p> <p>保護者や家庭事情も子どもを取り巻く大事な環境なので親のことも気にしてくれた</p> <p>入所すぐにたっぷり時間をかけた家庭訪問がある、しっかり家の中に入って話をしてくれる</p> <p>預ける、預かる関係ではなく、子どもと一緒に育てるという姿勢</p> <p>仕事で忙しい保護者に負担をかけてでも保護者がきちんと協力して参加する行事がある</p> <p>一番大変だったのは、園を作るために個々でカイコを育て、毎日新しい桑の葉をあげないといけないので、土日は桑の葉2枚とカイコを家に持って帰り、きちんとお世話をし月曜日また持っていかないといけない、</p> <p>無事に出来上がった繭は、それぞれ色付けしたり模様を描いて飾って出来上がり</p> <p>調理実習は保育所でできた野菜を使ったカレーや豚汁、1、2歳は手でピーマンをちぎるところから年長になったら包丁を使って手のひらの上で豆腐を切ることまでさせてくれる</p> <p>夏は毎日外のプール、ビニールプールではなく備え付けのプールで本気で泳ぎを教えてくれる</p> <p>それ以外にもどろんこ水遊びの時間あり、毎日泥まみれの洋服を持って帰ってくる</p> <p>運動会の本気のリレー、負けたチームは悔し泣きで保護者も先生も涙、そのときの先生の言葉は、「今日は白組の勝ち」。これは練習の間ずっと「今日はこっちの勝ち」と毎日先生が言ったのだらうとわかる言葉で、「今日は」という言葉がすぐ考えられているなど感動した</p> <p>同じく運動会での竹馬の披露。できる子はいろいろな技をするけど、ようやくたどとしく進めるだけの子もいて、これも毎日の自由な遊び時間の間に自然に興味ある子からやってみようとお膳立てされていて、興味のない子やできなくて拗ねてしまう子もいる中、運動会当日には必ず全員の子が何とか竹馬乗れるようになっている。決して無理やり練習させることなく、全員が自分の決めた目標レベルで竹馬に乗れるようになっていることが毎年すごいと思っていた</p> <p>そして生活発表会、主役、脇役の概念が覆る演出。例えば木だけが出ている場面では木が主役、それぞれの場面で全員主役になれるように組まれている。どの役をやりたいかは子どもが自分で決める。先生はどの子も主役になれるように場面構成してくれる。そして、例えば桃太郎だったら、この場面の桃太郎と次の場面の桃太郎は違う子が演じる。同じ場面を3人の子がやりたいと言ったら、3人とも同じ役で出る、効果音鳴らしたいと言った子は顔が見える舞台上で音を鳴らす、男の子がお姫様役でももちろん問題なし。</p> <p>就学前の秋には市内の年長児が全員集まって、小学校区ごとに分かれて遊ぶという顔合わせ的な行事</p> <p>修了式には年長児が小学生になっていく姿をカッコいい憧れとして見られるように、次は自分たちが、と成長できるように年中児と一緒に参加していた</p> <p>無添加で、軽だしから作ってくれる手作りの給食と手作りのおやつ。</p> <p>市販のビスケットなどではなく、毎日その日にその場で手作りしてくれるおやつ。</p> <p>大事なことです、保育士の先生は残業しません。早番の先生は4時になったら子どもたちに見送られながら先に帰ります。フリーの先生がいて、朝と夕だけの先生もいます。長期休暇も取ります。それが当たり前で気持ちよかったです。</p> <p>20年経っても、この保育所での記憶が色褪せることはありません。</p> <p>我が子は本当に大切に育ててもらったと思います。</p> <p>この記憶と対照的に、芦屋市の小学校には窮屈な印象しか残っていません。</p> <p>幸い、個別にいい担任の先生に当たったいくつかの年は安心して過ごせましたが、それでも学校全体に関してはどうかうちの子が無事に過ごしてくれようにと祈りながら、学校での体験には期待せず、親が別の場所で子どもがのびのびできる場所を与えてあげようと思っていました。</p> <p>いい担任の先生というのは個人的な主観かもしれませんが、結局のところ、私(保護者)と担任の先生がうまくコミュニケーションが取れている状態のとき、その良好な関係を子どもが感じることで子どもが安心して、学校でのびのび自分らしく過ごせるのではないかと考えます。</p> <p>実際、そういうときは子どもの成績も良く、勉強以外でも頑張っていました。</p>

	<p>これは中学高校でも同じ印象です。</p> <p>芦屋市の幼稚園、保育所はとても質が高いと思います。</p> <p>これが小中学校にもうまく引き継がれていけばいいと思います。</p> <p>今日は教育長のお話からも本当に芦屋から日本の教育が変わるのではないかと期待を持ちました。</p> <p>市民としてできることは協力したいし、またこのような学ぶ機会、知る機会があればぜひ参加したいと思います</p>
44	<p>オンラインで参加させていただきました。教育社会学と経済学、公共政策についての授業を取っているのですが、授業のコンテンツが本日の会議でも紹介されていてとても興味深かったです。また、様々なデータの分析結果を見せていただき、新たな学びも多くありました。有意義な時間をありがとうございました。このような機会が今後もありましたら、ぜひ参加させていただきたいと思います。</p>
45	<p>苦野先生のお話しは、何度か聞いたことがあり、対話の大切さや学校のシステムを変えていかないといけないことは、大いに共感します。哲学という難しいですが、地域で不登校親の会をしています、なかなか学校が変わらないことにどうしたらいいかと悩む日々です。具体的な方法や工夫など教えていただきたいです。</p> <p>非認知能力や学年制、お話しも興味深かったです。</p> <p>市長や教育長の熱い想いにも感動です。学校教育を生きづらい社会を変えていっていただきたいです。</p> <p>学校が、全ての子どもたちにとって、安心安全で楽しい居場所。イキイクワクワ学べる成長できる場所になればいいと思います。</p>
46	<p>興味深いお話、ありがとうございました。保育・教育の場所、保護者の立場、地域コミュニティやコミュニティビジネス、福祉の立場、それぞれの活動を通して「自由」の在り方を発信し、共有できたらいいと思います。それぞれの活動の違いと共通点を知る事は、楽しいものです。</p> <p>私は人生の折り返し地点を過ぎましたが、だからこそボランティアやパート、介護をしながら色々な立場の方々と関わりながら、新しい発見をさせてもらっています。最近、司書資格取得の学びを終えました。無料で誰でもいつでもどこでも知る、学べる場所である図書館の存在は、まさに「探求」をサポートする民主主義の場所だと改めて気付かされました。こどもは勿論、老若男女、外国語を母語とする人達が立ち寄り「対話する」場所や機会を少しずつ学校や公民館、図書館や高齢者施設等で広げられたいなと思いました。</p>
47	<p>時間が短く感じる会でした。パネラーの先生方の話は非常に興味が湧く話ばかりで、もっと聞きたいと思いました。</p> <p>ただ、言っておられる事はその通りだと思いますが、今の仕組みの中に落とし込む事はできるのか、授業時数や高校入試を考えると簡単では無いと思いました。</p>
48	<p>有料にしないといけないような内容だったと思います。</p> <p>芦屋市外の方も多く来られておりそれはそれでとても嬉しいことですが、もっと芦屋市の人にも来てもらいたいと思いました。</p> <p>今の子供たちの教育については全くその通りだと思う反面、まだまだ社会が追いついていないところもあるので、そのあたりの調整もスピード感持って動かしていかないといけないと感じました。</p> <p>学校でできること、学べること、社会でできること、学べることをしっかりと役割分担しながら、皆で子供たちを育てる社会になればと思います。</p>
49	<p>お話をお聞きした感想と、そこで感じたインスピレーションとして。</p> <p>環境やシステムを変えることも勿論そうだが、そこに主体性や真の自立を生み出せるかが大事。</p> <p>自分の体験も含めて感じるのが、『自分で考える』そういう“自発”を起こすことが、一番のキモなのかと感じる。</p> <p>現状維持を超える、今までの日常の流れを止める、そういうことによって起こる</p> <p>『思考の停止』がまず大事なのかと思った。</p> <p>それには、言語を持たない、肌で理解する・理解しようと思わされる『動物』への向き合いや、衝撃を受けるくらいの人生体験、</p> <p>人に対しても『相手の意図を理解しようとする』環境が</p> <p>とても大事だと思う。</p> <p>だからこそ、混ぜ混ぜにした対話環境は有効だし、障がいのあるお子さんとクラスを分けられないことは、『人間力』を高めるためにとても大切だと思う。</p> <p>また、今回はトモノ先生だけでなく、別分野の先生や、現場の立場の先生も混ぜてのトークセッションだったから、ある意味、その体現を見せ・感じさせ、見る側にもその因子を無意識のうちに感じさせたのではないかなと思う。</p> <p>でも、極論言えば、</p> <p>戦前のアメリカの入る前の日本の常識は、</p> <p>いまの時代で「これが必要だ」とみなが思い始めているものはすでに在ったんじゃないかなとを感じる。</p> <p>だから、いまは</p> <p>今までの取り入れさせられた政策がついに合わなくなり、</p> <p>『日本人の本質』を無意識のうちに、求め始めてる、そんなフェーズなんじゃないかと、感じる。</p> <p>だって、お話を聞いても、『そう、それ』って頷いてる自分（たち）は</p> <p>すでに何が大切かを知ってるからなんじゃないかなと感じたから。</p> <p>なので、</p> <p>表現は語弊を生みそうだけど、</p> <p>動物的感觉、触覚、嗅覚</p> <p>がこれからの時代、とても大事なんじゃないかなと</p> <p>あらためて感じる講演でした。</p>
50	<p>非認知能力が大事とはわかっていましたが、中室先生のエビデンスに基づいた話から、なぜ大事かが理解できずきりました。</p> <p>こどもだけでなく大人も非認知能力はとても大切で、人生においてまた働く上で社会の中で必要な力だと改めて感じました。</p> <p>時間が短く、中室先生と苦野先生、高嶋市長、野村先生のお話を、次回も聞きたいです。</p>
51	<p>・大変満足いく内容でした。</p> <p>苦野先生の教育学を中室先生のデータ分析で抑えるということだけに終わらず、そこから高嶋市長が市として行うべきことは何かを探ったり、逆提案したりするなんて素敵だなと感じました。おそらく、参加者の方々も大変有意義であったと思います。</p> <p>・さて、息子と娘2人が市内小学校でお世話になりました。今やどの自治体もなくなりつつある音楽会、図工展、夏の自由研究は今はどうなっているのでしょうか。働き方改革によりなくなりつつあるのかもしれない。</p> <p>芦屋市は音楽図工と専科でしたので、より系統生が活かされた教育を受けさせてもらいました。これは、うちの2人の子どもを見ていて、習っていないのに図工が好きになったりしたことを見ていて、本当に、先生方のおかげであると感じました。</p> <p>自由研究についても、市内で一同に会される研究を参考にしながら、とても楽しく子どもが取り組んでいたように思います。今でも一緒に取り組んだことを思い出します。今思うと、STEAM教育が自然となされていた朝日ヶ丘小学校だったような気がします。</p> <p>ここには、既に主体性を意識した、子どもに委ねる学びが下地としてあったような気がします。</p> <p>・コロナ禍でありましたので、キャンプの代わりに先生達・保護者の方々がお化け屋敷や筏作り、修学旅行の代わりに行き先を投票したネスタリゾート？などは、ちょっとした自己選択の学びだったような気がして、このような子どもの選択が更にあればと思っていました。</p> <p>・今日の委ねを教科に導入し、また総合的な学習に発展させることで大いに子ども達の主体性が発揮されると思います。特に、トップダウンではなくて、各学校にテーマを与えてもらうという方法は、働き改革といえども芦屋市が力を入れたり、大事にされたりしていることがよく分かりとてもいいと感じました。</p> <p>・授業では塾に通っている児童が多く、時には授業で先生に悪態をつく児童もいなかったわけではないので、自由進度などの委ねる学びをしつつ、うまく担任の先生方が課題ある児童に対応してくださればと思います。ただ、本当に様々な児童がいると思いますので、先生方も頑張ってください。</p> <p>・芦屋市の子ども達は自然と偏差値を気にされます。ですから、より社会問題を意識するようなテーマを学校として取り上げて欲しいと思います。これは、苦野先生のおっしゃる学校をつくり社会をつくる担い手となる子どもの育成につながるのかなと思います。偏差値も高く積極的に政治を意識する子どもの育成。どちらかと言えば裕福に育つ子ども達こそ、民主主義に敏感になる、福祉問題に敏感になる学習を取り入れて、子ども達が社会をつくる体験ができるようになるように目指して下さい。応援しています。</p> <p>・岩園小学校のテレビ放映内容が引き続き市内の学校に広がることを期待しています。先生方は大変だと思いますが、20年前の総合的な学習の火を今こそ灯し続けるように苦野先生の発信がとても生きると思います。</p> <p>また、これだけ裕福なご家庭が多い子ども達に欠けている能力を見つけ、伸ばすことは中室先生の研究にも寄与するのではないのでしょうか。応援しています。</p>
52	<p>人としての道理にあっていると感じる教育が、まだ規模は小さくても、着々と推進されていっていることに希望を抱きました。このような機会を、地域外の人に対しても開いていただき、本当にありがとうございました。</p>
53	<p>参加者から、芦屋の教育が変わってきたという率直な回答（挙手）があったのが印象的だった。教育に対する市民の関心の高さの表れでもあり、教育行政の発信力・実行力の高さでもあると感じた。登壇者が思わずマイクを持ちたくなるような雰囲気での対話が進み、高嶋市長のファシリテート（場づくりも含め）が良かったと思った。中室さん、苦野さんの人選も正解だった。苦野さんの教育哲学は理想の部分もあるが、根幹にかかわるもので教育現場は常に持っている理念だと思う。家庭教育が個人主義に偏っていたり、子供たちが耐性が育たぬまま思春期を迎えたりと学校教育でできる範囲を超えていると感じることも多いが、これからの教育の在り方を改めて見つめなおす貴重な機会をいただき、感謝します。</p>
54	<p>貴重な機会をありがとうございました。教育哲学と教育経済学の両面から課題に切り込んでいくアプローチがとてもわかりやすかったです。また、指導主事に焦点をあてた話題もあり、大変興味深かったです。指導主事の特性上、人材育成とはなりづらいのですが、これからの教育の鍵となるのが指導主事ではないかと思っております。是非、指導主事のポジションや役割の開発と活用についても、今後情報発信をしていっていただきたいと思いました。</p>
55	<p>研究分野の異なるお二方の話、また教育長の現場を経験されているからこそその話はいずれもわかりやすく、もっとお聞きしたかったです。それは、ファシリテーターを務められた市長が上手に進められたからだと思います。次回があれば、ぜひ参加したいです。</p>
56	<p>中室先生、苦野先生とのセットでのお話は非常に得難い機会となりました。幼児教育や非認知能力について議論が広がりましたが、信州大学の本田秀夫先生の「知的障害と発達障害の子どもたち」で提唱されている如何なる発達状況の子にも「自己決定力・実践力」と「相談力」身に付けさせることが大切ということも、今回のパネルディスカッションが深くリンクしたように思いました。芦屋市でこれから進められようとしている教育はどの子ともアジャストできる教育になっていけるのだと感じました。また、本市でも少しずつ、授業を変革しようとする教員の方々が増えてきているところですので、相互に連携できる機会があれば幸いです。ありがとうございました。</p>
57	<p>2時間半が短く感じたくらい白熱した討論会でした。ゲストお二人のそれぞれの研究も興味深く、この顔合わせはこれから色々な教育討論会でお目にかかる予兆があります。</p> <p>討論会の司会を市長自らなさるといのは始めてでしたが、さすがにお二人の話を簡潔にまとめる力は素晴らしいと感じました。</p> <p>と同時に芦屋が教育に力を入れていこう本気度がわかった時間でした。</p> <p>またの機会があれば参加したいです。</p> <p>ありがとうございました。</p>
58	<p>オンラインでしたので参加でき(こどもの都合あり)ありがたかったです。とても頼もしく今後も開催時にオンラインも開催していただけるとありがたいです。</p> <p>ありがとうございました。</p>

59	<p>苫野さんの哲学的な視点と、これまでの学校や教育行政でのご経験からのお話、中室さんのエビデンススペースのお話が相乗効果的に理解を深めてくれ、興味深く伺いました。芦屋市の取り組みとして、派手で見えにくいかもしれないけれども着実に対話を通じて変えいこうとされていることが、よく理解でき、期待感を持ちました。</p> <p>市長の想いをもとに、芦屋市の教育をよくするためのチームができあがっていったなと思い、今後の市政にも期待したいと思いました。</p>
60	<p>この度は、貴重なシンポジウムの機会を無料で提供して頂き、心より感謝申し上げます。苫野一徳准教授、中室牧子教授、いずれも一流の講師陣のお話を拝聴することができ、学びが深まりました。学校経営を推進する立場において、理念を共有する必要性を常に感じており、学校経営における「哲学」の必要性を実感しました。また、中室教授の書籍も読ませて頂いておりますが、エビデンスに基づくデータの説得力を痛感しました。お二人を揃えて登壇させる企画の素晴らしさを証明されました。芦屋市の市長、教育長が目指す教育の方向性には共感を覚えます。私が勤める学校から発信できるようさらに学びを深めていきたいと感じています。このシンポジウムの開催の情報を得るのが遅かったため、次週開催予定の学校公開が既に締め切られているのが、心残りとなりました。また、こうした機会がありましたら、メール等でお知らせ頂ければ、嬉しいです。</p>
61	<p>教育とは、その目的と何が、日々その場その場の対応に追い立てられることなく、原点に立ち返るべきであると再確認させていただきました。学校の教職員と日々議論を重ねたいと思います。ありがとうございました。</p>
62	<p>たいへん勉強になりました。ありがとうございました。</p> <p>私は民間の教育サービス業を営んでおります。今わたしが進んでいる方向と同じ考え方向だということをご認識しました。</p> <p>更に勉強したいと思います。</p> <p>またお誘いいただきたく存じます。</p>
63	<p>子どもの教育を考えたかったこと、私自身が最近教育関連の仕事に転職したこともあり、芦屋の教育を知りたくて参加しました。芦屋市の教育の考え方はとても素晴らしく、おもしろい取り組みで、学校ごとに対話文化をインストールされて取り組みをされているのが印象的でした。ただ、保護者としては、正直そうだったの？という感じなのもつたないと思いました。もっと保護者を巻き込んでいけたらいいんだろうなと感じました。</p> <p>大変勉強になりました。ありがとうございました。</p>
64	<p>市民を巻き込んで専門家同士が議論する会、大変素晴らしい取り組みだと感じました。現場、哲学、データ分析、行政の立場から専門家が議論し、微妙な意見の違いもありながら、それでも同じ方向に向かって進もうとする姿に感銘を受けました。高校や大学はもちろん、教育現場以外にも、いろいろなところに波及効果があるのかなと思いました。</p>
65	<p>芦屋が目据えている育てたい子ども像、アップデートしたい教育観を具体的に想像できるような素晴らしい場でした。対話を中心に一人一人がそれぞれの立場から力を合わせて学校を、そして教育を創っていくという考え方がまさに芦屋市様のこれからを表していると感じております。この度は大変勉強になる貴重な機会をいただき、誠にありがとうございました。</p>
66	<p>参加させていただきありがとうございました。大変勉強になりました。</p> <p>野村教育長の情熱と、苫野先生の哲学と、中室先生のデータ、この3つがうまく反応し合いながら、深く考えさせられる内容でした。（このお三方をファシリテートされていた市長の妻さにもびっくりです）</p> <p>私が勤務している市でも、多様で活発な子どもたちを目の前にして、子ども主体と探究的な学びを今年度から市として推進しています。私たちは単に「幸せな子どもを育てるのではなく、この先のどんな状況においても幸せになれる子どもたちを育てたい」と考えています。</p> <p>しかしながら、この教育観と授業観の転換はなかなかすっと進むものではありません。日々悩みながら、様々な形で、学校や先生たちをサポートする体制を整えていきたいと思っています。</p> <p>本日のパネルディスカッションの進め方や、話の内容などは、市でも広めさせていただき、そのエッセンスを参考にさせていただきます！本当にありがとうございました！</p>
67	<p>大変有意義な研修会でした。市長のコーディネートも素晴らしかったです。</p> <p>芦屋市のデータの中で、通級指導教室に在籍する子どもらの少なさに、なぜかな、と思いました。</p> <p>異年齢集団での取り組みとしては、掃除を1〜6年までの縦割りで行っている学校があり、とてもうまくいっています。</p> <p>支援学校や支援学級は必要だと思っていますが、通常級のカリキュラムを柔軟にすれば、支援級在籍の子は減らせると思います。総合的な学習は、子ども主体でやればいいと思うのですが、教師主導になっています。</p> <p>今の学校は本当に細かいルールがありすぎて、全員同じことをする、ということに無理があります。</p> <p>子どもたちが考える機会がなくなってきていて、(あそびも)そこにも危機感を感じています。</p> <p>今日は非認知能力についても改めて考え直しました。</p> <p>書ききれませんが、良い研修会でした。ありがとうございました。</p>
68	<p>とても学びの多いシンポジウムでした。参加させていただき、ありがとうございました。</p> <p>本市でも「子ども主体の学び」「探究的な学び」を柱に「令和の日本型学校教育」に取り組んでいこうと昨年の11月に方向性を打ち出し、今年度から本格的に取り組んでいますが、何のためにやっているのかが抜けたまま自由進度学習の「型」だけ真似して、ただの放置にしかならない授業も多い現状なので、苫野先生の仰る「そもそも」に立ち返って対話をすることの重要性、また中室先生のデータに裏付けられたお話がとても参考になりました。本市の先生たちや市長にもぜひ聞かせてほしい！内容でした。</p> <p>PEACEプロジェクトを始めたのは昨年8月からと聞いて驚きました。各校で自分たちで考えながら取り組んで、現状学校の様子はどんな感じなのか、ぜひ授業を見に行きたいと思いました。</p> <p>高島市長のもとで芦屋市の学校はこれからぐっと変わっていくんだろうなあと感じましたし、うちも芦屋市に色々学ばせていただきながら、頑張っていきたいと感じました。これからもどうぞよろしくお祈りします。</p>
69	<p>芦屋市が目指していること。もっと、現場で話せる場があればと思えました。</p> <p>「なんで先生になったのか」本質の問いの前に、青臭い根っこ話。合わないなーと思っている先生がいても目線が整っていく。そうすると「どんな学校にしていこうか」という問いを本質的に対話していける。「良い先生とは何か」「良い教育とは何か」を頻りに問える場をつくれれば、もっと深い深いところまで問いを立てていくと価値観が深まっていける気がする。いろんな感受性が集まって対話ができる場って、やっぱり学校なんだ。という。苫野先生の言葉がとても印象的でした。</p>
70	<p>非認知能力の大切さ、いまの教育とのズレなどがよく分かりました。経済的なことをグラフで比較するのも興味深かったです。自由が人間にとって何よりも大切、ということを実感的規模で見ると、お互いの自由の相互承認がいかに難しいことか。だからこそ我々一人一人が正しく認識して根付かせていかないとはいけませんね…</p>
71	<p>苫野さんのお話を聞きたくて参加しましたが、様々な角度からのお話を聞くことができ、とても有意義な時間でした。哲学の視点と経済学の視点、教育委員会の視点と市長さんの視点という日常の活動にはない方達のそれぞれから見た教育が語られていて面白かったです。とくに幼児教育における非認知能力の育成については大切だと最近よく聞いておりましたが、小学校段階においても粘り強く育てて行くことで、子どもたちの将来によりよい影響を与えられるのかなと感じました。学校は何のためにあるのか、ということに念頭をおきながら、日々の教育活動を進めていきたいなと改めて感じました。保護者の方たちにも非認知能力の大切さを伝えていながら、目に見える学力が上がらないことの言い訳と捉えられないように、日々精進していきたいと思っています。とても素敵な研修の機会を与えていただきありがとうございました。</p>
72	<p>学校に居場所つくりを…は不登校の子供には良い事だと思った。でも、そういうのも認められるんだと知ってそっち側に行きたい子供が増えないかなあ？とも思った。</p> <p>冒頭の資料を見て、市内の公立中学校に通う子の比率が思ったより低くて驚いた。熱心に教育改革を試みようとしていっているのに何だかもつたないなあと思った。ちょうどの学びとか市が言ってくれるとのびのびと子育て出来るような印象を受けるがやはり公立中学に行くこと内申点の問題がある。これが原因で私立を受験されるご家庭も多いと聞く。でも公立高校受験生の問題となると芦屋市だけで決められる問題ではないしこら辺をもう少し掘り下げて欲しいと思った。</p> <p>市長のインスタでも内申点を取り上げていた事もあったと思うので。</p> <p>価値観の違う人とどう対話を持つかという話も興味深かった。今回は中室さんに悪かれてzoomで視聴しました。とても聞きやすい話し方でやっぱり好きだなあと思いました。</p>
73	<p>教育改革を議論する上で、教育の本質や目的を抑え、且つ、先行研究を参考に改革の方針等を議論されていたので、建設的で大変参考になる内容でした。一つ付け加えるとすると、インクルーシブの観点にも触れることができれば、すべての子どもの学習権を保障する公教育の在り方として、より良いものになると思いました。</p>
74	<p>とても面白く、充実していました。このようなイベントを企画していただき、ありがとうございました。今年1番のオンラインでした。</p>
75	<p>中室先生のキレのあるお話を聞くことができ大変勉強になりました。</p> <p>会場設定も良く、係の方の案内・誘導等とても丁寧で、さすが芦屋市だなと思いました。</p> <p>ありがとうございました。</p>
76	<p>2時間半があったという間に過ぎてしまった、興味深く学びがたくさんあったパネルディスカッションでした。</p> <p>思いがけず、幼児教育の重要性が語られる時間が多く、考えねばならないことがたくさんあり、整理したいです。</p> <p>私たちは非認知能力の重要性を理解し手はあるが、今日の会でのさらなる学びを保育に生かしていきたいと考えている。年間カリキュラムや園庭の使い方や園庭を今よりもっと豊かな遊びの場にすることなど保育の根本を本当は考えたいところである。</p>
77	<p>参加させていただいて、とても良かったです。中室先生、苫野先生のお話を生で聞くことが出来て、貴重な時間になりました。今回は、幼児教育が将来にも影響する可能性のお話がとても興味深いものでした。</p> <p>乳幼児の子どもをもつ保護者にも施設を通して周知出来るので、ともに学び、芦屋市の教育の価値を知って欲しいと思いました。</p>
78	<p>本日は誠にありがとうございました。参加させていただきとても気づきが多く、この企画をしてくださった事に感謝申し上げます。</p> <p>私は、幼児教育を教えておりますが、今回の学びを学生に必ずシェアし、自分事として学生からの意見を引き出していきたいと思いました。</p> <p>今後ともどうぞ指導の程よろしくお祈りします。</p>
79	<p>オンラインで参加させていただきました。</p> <p>あっという間に時間が過ぎ、まだまだお話を聞きたいと思うくらい充実していた会でした。</p> <p>「自分たちの学校は自分たちでつくる」は、「自分たちの社会は自分たちでつくる」という意識を育てることにつながると思いました。</p> <p>また、「教育は一緒につくりあげるもの」という苫野先生のお話が心に残りました。対話を重ねながらよりよい学校づくりを実現させたいと思いました。</p> <p>貴重な会に参加させていただきまして、ありがとうございました。</p>
80	<p>これからの教育で何を目指していくべきなのかということが、様々な視点から語られており、学び多き時間になりました。特に中室先生の話は経済学の視点から教育を語っていただき、幼児期の大切さは、小学校で言えば低学年にも繋がる話、学校で何を学ばせるかということを考えるきっかけになりました。対談形式で、1つの話題から様々な考えを知ることができあっという間の2時間半でした。ありがとうございました。</p>
81	<p>刺激的な時間を過ごさせていただきました。私は現在明石市教育委員会でコミュニティ・スクールのコーディネーターをさせていただいています。</p> <p>2020年に苫野一徳先生にお越しいただきお話をさせていただきました。「学校をつくり直す」を読み、またコミュニティ・スクールに取組始めた時期でもあり、これからの学びの在り方についてお話を聞きたいと思い講演会を計画しました。「学校をつくりなおす」を読んだり、苫野先生のお話を聞くなかで、これからの学びのあり方に夢を膨らませましたが、なかなか難しいと感じていました。しかし、急激に学校を取り巻く環境も変わり、まさしく「学校をつくりなおす」が各地で動き出していることを実感します。そうした動きに勇気を与えるパネルであったと思います。</p> <p>パネルの中でコミュニティ・スクールという言葉は一回も出ませんでした。パネルの話は私の中で全てコミュニティ・スクールと重なりました。未来を担う人を育てる仕組みをつくるプラットフォームとしてコミュニティ・スクールがあると改めて自分の中で確認ができました。また、非認知能力の大切さを様々なデータを根拠に説明していただいたことは参加者にとって力を貰えたのではと思っています。高島市長が言われた「固定的な教育観を少しずつ溶かしていく」は体全体に染み込みました。先生も、子供も、大人も、日本に染み込んでいる固定的な教育観を変えていくことが、社会を変えることにつながる。その種は今も手遅れになるという危機感を高島市長さんをお持ちなんだと感じました。1996年中教審答申で「生きる力」が打ち出されましたが、ゆとりを正しく捉えきれなかった失敗を繰り返さないためにも、対話が必要だと再認識させていただきました。このパネルでいただいたパワーで、コミュニティ・スクールを通して対話を広げていきたいと思っています。本当に素敵な時間、ありがとうございました。</p>
82	<p>とても貴重な機会を設けてくださり、誠にありがとうございました。市長がファシリテーターを務めてくださったおかげで、始めから終わりまでとても分かりやすかったです。</p> <p>一人一人が確かな学力を身につけ、心身共に成熟した状態で社会人になることにより、社会全体がより良くなる未来を実感でき、前向きな気持ちになりました。</p> <p>このようなお話を伺う際、実際の問題とうまく結びつけることができず、本当に実現することができるのか疑問に思うこともあるのですが、芦屋市での取り組みを教えていただくことで疑問が解消されました。</p> <p>また、具体的に何をすれば良いのか、どのようにすれば良いのかを教えていただいたことにより、学生である自分自身に対して、学童で関わっている子ども達や周囲の方々に対して、自分にできそうなことを見つけたので、取り組んでいこうと思いました。</p>
83	<p>興味深いお話をありがとうございました。遙か前の学生時代に、デュイの『学校と社会』、ルソーの『エミール』を学んだのを思い出しました。仕事や母として年を重ね、その経験から、教育哲学や経済学の観点からのお話は、それと重ね合わせて共感できるものがありました。</p> <p>幼児教育の自由度と学校教育の教科としての「探究」が融合し、子どもの目がキラキラする様な新しい環境が創っていったらと思います。</p> <p>今回の話を踏まえ、コミュニティビジネス(NPOも含む)の場所や幼児教育、小学校、図書館等に関わる方々の経験を共有、意見交換ができる場があれば、また参加したいです。</p> <p>今日は仕事帰りに、たまたま点字リサイクル紙を使用した手づくり紙文具のお店を見つけて立ち寄りしました。芦屋には沢山の素敵な地域の人の営みがありますね。教育長や市長のお話されていた、派手でない「じわりじわり」で、その営みを繋げながら、これからの子ども達の育ちを支えられたら素敵ですね。私もまだまだ、私の関わり方で子ども達と一緒に育っていききたいと思っています。</p> <p>講演会の企画、準備をされた皆様にも、感謝致します。</p>
84	<p>それぞれの立場からのお話を聞くことができよかったです。ありがとうございました。</p>

85	<p>こういうイベントが開始されてから、登壇者の殆どが男性であることに違和感を感じています。</p> <p>子どもの邪魔もあってオンラインの配信があまり聞こえず中身についてはあまり言えないのですが、中室先生の「保護者はい読み書きそろばんが大切と思っている」は今の保護者の感覚とは合わないように感じました。</p> <p>小学校受験をされる人（芦屋でもかなり少数派）は特殊で良く分かりませんが、中学受験をされる方は大体「子どもの将来が不安」「子どもの本人の好きなことを活かせる学校（部活など）」「公立で高校受験の苦勞をさせず6年間のびのびと過ごさせたい」という意見をよく聞きます。</p> <p>今の高校受験は厳しすぎ、中学は3年生だけとは言え先生の心象、内申が気になるのびのびとできないのではと懸念するのは当たり前と思います。</p> <p>ステレオタイプ的な見方をしないで考えていただけたら幸いです。</p> <p>市外の方が多く参加されることに違和感を感じますが、市長の宣伝のようにふるさと納税をしてもらえらるなら良いのかなと少し思いました。ただ、他自治体の外野の意見は状況が違いますのであまり反映されないうご注意いただきたいです。</p>
----	--